

2022 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年 1月 10日
- 事業名 : 「人を活かす山を創る」場づくりと自伐型林業人材、複業・兼業人材の創出事業
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人地球と未来の環境基金
- 実行団体 : 株式会社 皐月屋

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
環境保全型・持続可能な林業のモデル林づくり / 半林半木の創出・推進の場づくりの整備	施行面積 新規作業道開設	4ha 500m	2024/3月	新規作業道は7月～9月で約300m開設し、12月中に500m施工完了予定。 作業道を作った事により山林で間伐した材木を林内から搬出する事ができ、搬出した材木を山の入り口に設置してある簡易製材機で加工し、販売につなげる事が出来る。 団体（智頭ノ森ノ学ビ舎）立ち上げ2015年以降から自伐型林業に携わり、当初8名だった会員も2022年現在50名をこえてきている。	1

技術者、指導者の育成のための研修会	・研修参加人数	20名	2024/3月	指導者である野村氏を招き作業道の踏査研修を9月に1度開催した。12月までにあと2回開催予定である。9月は関係者含め3名が参加。参加者は今後も継続的に参加予定である。中には移住してこの研修に参加し、そのまま町内に移住、町内就職を予定している方もいる。12月までの参加延べ人数は12名の予定である。	2
異業種との連携（林業×〇〇） / 阜月屋での多角化経営の確立	・連携した企業数	6件	2024/3月	<p>智頭町複業協同組合（※以下、複業組合）に就職した人材を日々のOJTで育成している。複業組合のコンセプトがマルチフォレスター（半林半X）の育成である為、引き続き林業を軸に半Xを模索していく。</p> <p>智頭町役場（行政） 壊れない作業道を作る為に新しい補助制度（積み上げ式）を提案している。今年度中には形になる予定である。</p> <p>VUILD という木材加工機販売会社と現在打ち合わせ中である。 年度末に向けて shop Bot という木材加工機を導入予定。山から出た材木を簡易製材機で製材し、shop Bot を使い商品開発していく予定である。</p> <p>鳥取の大学生が自伐型林業に関わる卒論を書く為に OJT に参加予定。（10月、11月）</p>	2

新規就業者希望者向けの研修会	・研修参加人数	25名	2024/3月	鳥取市の別事業体で林業に従事する女性が智頭で自伐形林業で働きたいという事でインターンシップでOJTに参加（7月、8月に1日ずつ）秋以降も継続参加予定である。 自伐型林業スキルアップの為、智頭ノ森ノ学び舎主催の架線研修（※架線とは作業道が作れないような急峻な山での材木搬出方法）を共同開催（7月25、26、9月12、13、14）し20名（延べ人数）の参加があった。	1
----------------	---------	-----	---------	--	---

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
感染予防を行い活動したが、それでも実際は今年度2度に渡り家庭内でのコロナ感染があり、活動自粛を余儀なくされた。

③ 広報（※任意）

- メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）
2022/12月週刊朝日取材、2022/11月～鳥取NHK取材（継続中）
- 広報制作物等
- 報告書等